

栗原地域だより

第1号
平成24年5月17日発行

目次

栗原地域だより発刊にあたって（所長あいさつ）	P.1
トピックス	
○岩手・宮城内陸地震の復旧状況について	P.2
○震災に負けずに牛肉の消費拡大を……地元産牛肉を満喫 講演会「農業と和牛のつどい」と賞味会が開催されました	P.2～3
○若柳地区の千葉静子さん、食アメニティコンテストで 「農林水産大臣賞」を受賞！	P.3
○“失われた水源再び”「沖富調整池」の貯水を開始しました！	P.3～4
○管内の農林産物放射性セシウム濃度等の簡易検査結果 （4月1日～5月2日）	P.4
お知らせ	
○消費者トラブルに遭わないための「出前講座」を行っています	P.5
○仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン開催中！ ～栗原の春を満喫しましょう～	P.5



花山鉄砲まつり

栗原地域だより発刊にあたって 宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所長 加藤喜彦

皆様、はじめまして。宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所長の加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

当事務所は、平成20年4月の組織改編により、栗原地方振興事務所から北部地方振興事務所の栗原地域事務所となり4年が経過しました。

この4年の間に、栗原市においては、岩手・宮城内陸地震と東日本大震災により甚大な被害が発生しました。これまでの復旧・復興に向けた関係各位の御労苦、御尽力に対しまして敬意を表します。

特に、東日本大震災では、栗原市民の皆様が、自らも被災しながら沿岸部の復旧支援にいち早く取り組み、被災した方々を受け入れるなど大地震の経験を生かした素早い対応と相互扶助の精神は、被災された多くの方々に勇気付けました。

当事務所としましても、震災からの早期復興に引き続き取り組むとともに、栗原市が市政運営の理念として掲げている「市民が創る くらしたい栗原」や、県が進める「富県宮城」の実現に向け、今後も邁進してまいります。

この「栗原地域だより」は、当事務所の取組などを、栗原市民の皆様はもとより、関係の方々に広くお知らせして、より身近な県の機関として受け止めていただくことはもとより、短い期間に二度の災害に見舞われたにもかかわらず、明日に向かって着実に復興の歩みを進めている栗原市や市民の方々に励ます意味を込めて発刊したものです。今後も隔月ごとに発行してまいりますので、是非、御愛読いただき、御意見等をお寄せいただければ幸いです。

岩手・宮城内陸地震の復旧状況について

林業振興部

平成 20 年 6 月 14 日に発生した「平成 20 年岩手・宮城内陸地震」から 4 年が過ぎようとしています。復旧工事もだいぶ進み、栗駒山への入山解禁や国道 398 号線等の幹線道路が全線開通するなど、生活基盤の復旧が進んでいることを実感できるようになり、被災した森林も緑に包まれた姿を取り戻しつつあります。

林地崩壊及び地すべり等により被災した森林については、これまでの 4 年間で 28 箇所において溪間工、山腹工の工事を行い、平成 23 年度末までに 23 箇所が完成し、被災した森林の復旧も進んでいます。平成 24 年度も引き続き復旧工事を実施しています。

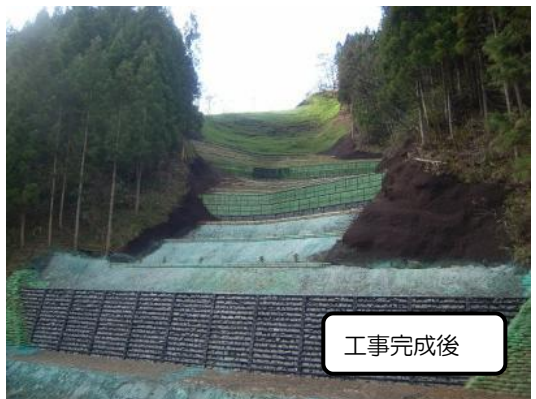
治山施設及び地すべり防止施設は 18 箇所が被災しましたが、これら施設は平成 21 年度までに、すべての工事が完了し復旧しています。

国の宮城北部森林管理署が行っている民有林直轄治山事業は 4 地区で行われており、平成 23 年度末までに溪間工 20 基、山腹工 44 箇所が整備されました。

栗原市管理の林道で被災した箇所は、林道施設災害復旧工事により平成 22 年度までに 13 路線すべてが完成し通行できるようになっています。

今後も被災した森林については、継続して工事を進めることとしており、地域の皆様が安心して生活できるように、日夜、早期完成を目指し工事を進めておりますので、今後とも御理解と御協力をお願いします。

■問い合わせ先 林業振興部森林整備班 TEL：0228-22-2391



震災に負けずに牛肉の消費拡大を……地元産牛肉を満喫
講演会「農業と和牛のつどい」と賞味会が開催されました

畜産振興部

この講演会は、肉用牛改良の方向性とその取組を検討する場として位置づけられており、全国和牛能力共進会宮城大会（平成 29 年開催）へ向けて、地元産牛が県代表となるよう生産性向上と畜産経営の改善を図ることを目的に、去る 1 月 24 日に開催されました。主催は、栗原市、JA 栗っこや栗原農業共済組合等で構成される栗原市農業振興協議会、県北部地方振興事務所栗原地域事務所等で、参加者は畜産農家、関係者ら約 270 人でした。



講演の様

北海道十勝農業改良普及センター十勝北部支所の出雲支

所長は、「理想的な子牛のつくり方について」と題して、哺育中の子牛の栄養の充足、消化力の高い胃袋の作り方等の市場評価の高い子牛の飼養管理方法について講演され、参加者はこれまで以上に関心をよせていました。

全国和牛登録協会の山口室長は、「和牛維新でめざそう 宮城の牛づくり」と題して、繁殖能力が高い雌牛の保留や地域で特色のある牛づくり等今後の改良の方向性について講演されました。

また、講演終了後に栗原産牛肉賞味会が行われ、地元産牛肉のステーキやしゃぶしゃぶが振る舞われました。

■問い合わせ先 畜産振興部畜産振興班 TEL：0228-22-2487



牛肉賞味会

若柳地区の千葉静子さん、食アメニティコンテストで「農林水産大臣賞」を受賞！

農業振興部

「食アメニティコンテスト」（主催：財団法人 農村開発企画委員会）は、地域の特産物を活用して起業活動などを行う農山漁村の女性グループ等が、地域づくりに貢献している優秀な事例について表彰を行うものです。平成 23 年度、全国 31 グループの応募の中から、栗原市若柳地区の千葉静さんが農林水産大臣賞に選ばれました。

千葉さんは、明治 10 年に建てられた広い家屋を活用し、平成 14 年に農家民宿「有賀の里 たかまった」を開業、和食中心の家庭料理を提供しています。江戸時代から千葉家に伝わる

「大秘方 萬料理方全」を発見したことをきっかけに、商工会や地域のメンバーで「150 年前の栗原の食復活プロジェクト」を立ち上げ、復元活動に取り組みました。復元した料理は宿泊客のメニューにも加えたり、イベント等で紹介したりして、栗原の食文化を今に伝えています。このほか地元産 100%のそば粉や米粉を使ったシフォンケーキを開発、農産物直売所「くりでん」で販売しています。

このたびの受賞は、千葉御夫妻のパートナーシップや「大秘方萬料理方全」を通じた多くの人たちとのつながり、そして地域の人々と協力して築き上げてきた会席料理が高く評価されたものです。

当所では、今後も女性の起業活動や経営参画を支援していきます。

■問い合わせ先：農業振興部地域農業班 TEL：0228-22-9404



コンテスト活動発表、表彰式にて
(中央が千葉夫妻)

“失われた水源再び” 「沖富調整池」の貯水を開始しました！

農業農村整備部

平成 20 年 6 月の岩手・宮城内陸地震により荒砥沢ダム貯水池で大規模地滑りが発生し、ダムの貯水容量が減少しました。崩壊土砂全量（150 万 m³）の撤去は不可能で、撤去が完全に出来ない 56 万 m³を補うため、東北農政局では直轄災害復旧事業でダム下流の築館沖富地内に「沖富調整池」を施工し、平成 24 年 3 月に完成、平成 24 年 4 月 3 日から貯水を開始しました。1 日約 1 万 m³強を貯水し、4 月 18 日現在の貯水量は約 22 万 m³です。

今年度から、沖富調整池の施設の管理は東北農政局から宮城県に委託され、当所が行っています。今後は、点検や除草を含めた適切な維持管理に取り組んでいきます。



写真上：貯水を開始した沖富調整池
写真右：沖富調整池（H23年7月撮影）



■問い合わせ先 農業農村整備部管理調整班 TEL：0228-22-2398

栗原市内の農林産物放射性セシウム濃度等の簡易検査結果(4月1日～5月2日)

農業振興部、林業振興部

栗原地域事務所では、NaIシンチレーション検出器により、栗原市内の農林産物や土壌、稲わら等の放射性セシウム濃度を検査計画に基づき調査しております。

4月1日から5月2日まで農林産物53点を調査し、45点は基準値の2分の1(一般食品の場合50ベクレル/kg)以下でした。林産物ふきのとう(野生)、こごみ(くさそてつ)(野生)、わさび(野生)、わらび(野生)、たらのめ(野生)、こしあぶら(野生)、たけのこ(露地)は、簡易検査の測定値が基準値の2分の1を超えたため、精密検査を実施しました。

☆簡易検査の測定値が基準値の2分の1以下であったもの

<農産物>黒豆(露地)、にんじん(露地)2点、クレソン(施設)、みずな(施設)、ねぎ(露地)4点、ほうれんそう(施設、露地)4点、キャベツ(施設)、きゅうり(施設)、つぼみ菜(施設)、あさつき(露地)、いちご(施設)4点、みつば(施設)、サラダ菜(施設)、ふき(施設)、せり(露地)、さといも(露地)、グリーンポール(露地)、アスパラガス(露地)2点

<林産物>菌床しいたけ(施設)2点、山にんじん(露地)、原木しいたけ(施設)、くるみ(露地)、アイコ(野生)、干しいたけ(施設)、もみじがさ(しどけ)(野生)、よもぎ(野生)、ふき(露地)、うど(露地)、ぜんまい(野生)

4月11日以降、県内で相次いで出荷制限指示が出された露地栽培の原木しいたけについては、当管内においても基準値を超える150ベクレル/kgが検出され、4月12日付けで国から出荷制限指示が出されております。

なお、施設栽培による原木しいたけ及び菌床栽培のしいたけの放射性セシウム濃度は不検出です。

また、こごみ(くさそてつ)(野生)について、4月24日精密検査では、110ベクレル/kg、240ベクレル/kgが検出され、27日付けで国から出荷制限指示が出されました。さらに、こしあぶら(野生)についても、5月2日の精密検査で110ベクレル/kgを検出したため5月7日付けで出荷制限指示となっております。

ふきのとう(野生)は75ベクレル/kg、わさび(野生)は73ベクレル/kg、わらび(野生)は79ベクレル/kg、たらのめ(野生)は91ベクレル/kg、たけのこ(露地)は41ベクレル/kgでした。

■問い合わせ先 農業振興部 0228-22-9437 林業振興部 林業振興班 0228-22-2381

消費者トラブルに遭わないための「出前講座」を行っています

総務部

県民サービスセンターでは、消費生活に関する出前講座を行っています。栗原市内の消費者トラブル等を紹介し、被害に遭わないために注意すること、遭ってしまった場合の対処法についてお話をします。難しい話ではなく、みなさんに楽しんでいただけるような講座になっています。

対象は、栗原市内在住の消費者問題に関心のある団体、グループ、企業、学校など一般消費者の方です。地域やグループでの集まり、お茶っこ会、研修会・講習会、授業等に是非ご利用ください。

なお、この講座は講師・資料は無料です。ご利用を希望される場合は、お気軽にご連絡ください。

■問い合わせ先 県民サービスセンター消費生活相談窓口 0228-23-5700



昨年度の様子

仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン開催中！

～栗原の春を満喫しましょう～

地方振興部

「平成 25 年度仙台・宮城デスティネーションキャンペーン*1」の 1 年前となる 4 月から 6 月にかけて、「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン」を開催しています。「笑顔咲くたび 伊達な旅」をキャッチコピーに、むすび丸と「桜色ののぼり」を目にする機会が増えていると思います。

このキャンペーンの中では、栗原の魅力を味わっていただくため、仙台からの日帰りバスツアー「伊達なバス旅*2 ガイド」や「フラワースタンプラリー」で、花の名所や農産物直売所、お祭りなどが紹介されています。

フラワースタンプラリーには、栗原市内のミズバショウ公園（「道の駅」路田里はなやま）、世界谷地原生花園（ハイルザーム栗駒）、山王史跡公園あやめ祭り（地域産物展示販売施設あやめの里）、そね観光いちご園で参加できます。県内外で 96 のチェックポイントがありますので、ぜひ、3 ヶ所のスタンプを集めて、各市町村の特産品を手に入れましょう。台紙は、上記のスタンプラリー参加場所と宮城県栗原合同庁舎、栗原市田園観光課、くりこま高原駅に置いています。



■期間 伊達なバス旅、フラワースタンプラリーともに

平成 24 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで

■問い合わせ先 地方振興部商工・振興班

0228-22-2195

写真上：伊達なバス旅パンフレット
写真下：フラワースタンプラリー台紙

*1 デスティネーションキャンペーンとは

地方自治体・地元観光業者と JR グループとが連携して行う、観光キャンペーン。宮城県では、平成 20 年度 10 月～12 月に実施して以来、2 回目の開催となります。

*2 伊達なバス旅とは

県内各地のおすすめスポットをツアー提案して実現したバス旅。（詳細は <http://www.sendaimiyagidc.jp/datebus/>）

「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン」開催中です！



笑顔咲くたび 伊達な旅

仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom



東北観光博
東北平山工科大学協賛

JR
JR東日本

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1

電話：0228-22-2195（直通）

Fax：0228-22-6284

e-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp

ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsin/>